

平成28年度 学校自己評価システムシート (県立浦和東高等学校)

(A3判横) s23

目指す学校像	学力の向上と部活動の充実を図り、生徒一人ひとりの進路希望を実現する地域に根ざした学校
--------	--

重点目標	1 学力の向上を目指し、授業改善と学習習慣の確立を進める。 2 規範意識を高める生徒指導と学習及び部活動の環境整備を進める。 3 進路意識を高め、進路希望の実現率を高める指導を進める。 4 開かれた学校づくりを推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	3名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	10名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	①基礎学力を向上させ、確かな学力を定着させるために授業改善に取り組み、主体的に学ぶ生徒を育成する。 ②学習時間を確保するために部活動との両立を実現させる。	①授業改善に取り組む。 ②学習習慣を確立する。	①授業公開の実施(年2回) ・授業評価アンケートを実施する。 ・学校外の授業研究会への参加 ・授業改善のための教科会を開催する。 ・共通認識を図り、授業規律の確保 ②集会・HR等で生徒の意識改革を図る。 ・進路補講の充実と資格試験受験の奨励 ・朝学習の定着 ・図書館・学習室の有効活用	①授業評価アンケートや学校外の授業研究会への参加報告、教科会などから授業改善に向けた計画を立て実践できたか。 ・他の教員の授業を2回以上見学できたか。 ②学習時間が増加したか。 ・学習方法に工夫が見られたか。	①授業改善に意欲を見せた教員が、授業改善への取り組みを始めた。 ・評価指標は達成できなかったが、授業見学から授業改善を始める動きが出ている。 ②進路補講、朝学習、資格試験などを奨励し、多くの生徒が参加した。また、学習室、図書館などの学習場所の充実を図った。	B A	①校内だけでなく、校外での研修を共有する仕組みを確立したい。これによって効果的に授業改善が進むようにしたい。 ②家庭と連携し学習習慣を確立させ、学習時間の増大を図った。次年度は今まで以上に生徒が主体的に学び学習の量と質の向上を図る。また、部活動との両立を維持させる。
2	①学校生活における基本的な生活習慣の確立に努め、社会の一員としての規範意識を醸成する。 ②環境整備を進め生徒の活動意欲を喚起するとともに安心・安全な学校づくりに努める。	①生徒の自主性を育む生徒指導を展開する。 ②美化・健康・防災に対する意識向上を図る。	①遅刻内容を分析し、効果的な遅刻指導を継続する。 ・自転車事故、問題行動等の未然防止に努めるとともに初期対応の充実を図る。 ・成功体験積ませ、自己肯定感を育む。 ②専門家による問題箇所の点検を実施。 ・保健課題に対する生徒の意見を反映させるシステムを構築する。 ・生徒の防災意識チェックシートの作成	①遅刻者・遅刻数を減少できたか。 ・交通事故報告書は40%減少したか。 ・生徒の主体性を育成できたか。 ②問題箇所を改善できたか。 ・保健課題に対する生徒の満足度を向上させることができたか。 ・防災意識は、高まったか。	①昨年と比べて遅刻総数が5%増加した。 ・交通事故報告書は40%減少した。 ・文化祭等生徒は積極的に参加していた。「まなびあい」の参加生徒も1学年から3学年まで幅広くなり、主体的に参加していた。 ②トイレを中心に改善した。 ・昼食後の歯磨きの意識改革が認められる。 ・新しい取り組みにより防災意識は高まった。	B B	①全体的に遅刻の生徒数は減少してきているが、遅刻を繰り返す生徒が増え、遅刻総数が微増している。個別に指導等を行うことで改善に努めたい。 ・講話や講習会によって繰り返し指導することによって減少することができた。救急搬送される事案もあることから今後も交通安全指導に努めたい。 ②生徒アンケート等からの課題の抽出と学校保健委員会を更に充実させる。
3	①計画的・系統的な進路指導を実践している。第一志望への進路実現に向けて一人ひとりの進路希望を把握し新たな大学入試システムに対応する。また、保護者と連携し進路指導への理解をさらに深める。	①個別対応により第一志望への進路実現を図る。	①組織的・系統的なキャリア教育と丁寧な進路相談を実施する。 ・個々の進路行事でアンケートを実施して結果を活用する。 ・効果的な進路資料を提供する。 ・スタディサポート(ベネッセ)の全校実施や語彙・読解力検定の学年実施。 ・PTAによる保護者向け進路研修会の充実を図る。(1月実施予定)	①実力診断テスト(1月実施)の結果は前年度比で向上したか。 ・進路行事満足度は90%を超えたか。 ・中堅以上の大学合格者100名以上、公務員合格者複数、就職率100%を実現したか。 ・進路結果に満足している今年度の卒業生は90%を超えたか。	①国語・数学・英語の総合平均点が3.5点向上した。 ・進路行事満足度は79.8% ・中堅以上大学合格170名。公務員5名、民間企業就職10名。就職率100% ・進路満足度は94.2% ・PTA進路講演会を実施。(1月)	A	①生徒一人ひとりの進路希望実現のために動機づけから取り組み、高い目標をもって学習支援を行う。 ・進路行事・対策のねらいをもう一度再確認し、新しい制度に対応できる教育観、指導方法の研修を継続する。 ・保護者との連携を密にし進路指導への理解を深める。
4	①HPなどを活用して、本校の教育活動を県民に広く発信している。今後も、保護者、地域並びに中学生からの信頼を向上させるために、積極的に情報発信を行い本校の魅力をさらにPRしていく。	①地域に根ざした、開かれた学校づくりを推進する。	①中学校・塾訪問(年2回)、学校説明会(年5回)実施。外部主催の高校説明会への参加。 ・学校案内やHPなどを工夫・改善するとともに情報を積極的に収集してタイムリーに発信する。 ・異校種との交流を促進し、地域に貢献する。 ・保護者、地域住民の学校行事(公開行事に限る)への参加を促進する。	①学校説明会等によって本校への理解度や進学意欲は高まったか。(参加者アンケート結果を分析する) ・HPの更新を素早く出来たか。 ・異校種間連携、地域連携は進んだか。 ・保護者等の行事参加が増加し、満足度を高められたか。	①学校説明会は昨年度に比べ、参加者が増加した。また、校外での説明会にも積極的に出向き、多くの方に本校を理解していただくことができた。 ・HPは昨年度から継続してコンスタントに更新できた。 ・地域連携は、有意義に実施された。(異校種・埼玉等) ・保護者の行事参加が増え満足度も高まった。	A	①次年度もHPの素早い更新を心がけ外部に本校の教育活動の素晴らしさをアピールするとともに本校の行事等のアナウンスを行う。 ・授業公開日等で保護者の協力を検討する。 ・地域に貢献し愛される高校を目指して職員・生徒・保護者の意識を向上させる。

実施日	平成29年 2月 7日
学校関係者からの意見・要望・評価等	①授業改善の取組を意欲のある先生方が始めたことは今後につながると思う。いずれ全員の先生方が積極的に授業改善に取り組めると良い。 ・授業評価アンケートは、生徒の意見が反映されているのでこれらを参考に授業改善に取り組んでいただきたい。 ②他校では、学習室を重視し校外に設置したりしている。本校の学習室は、活発に活用されている。また、図書館の利用も考えているということなので学習環境の幅が広がることを期待する。 ・朝学習の取組などで学習時間を確保している点は評価できるので継続してほしい。
学校関係者からの意見・要望・評価等	①遅刻の傾向を分析して対策を講じれば遅刻を減らすことができるし、遅刻を繰り返す生徒への適切な指導につながる。 ・交通事故が減少したのは良いが件数的に見るとまだまだ多い。重大事故が発生しないように指導してほしい。 ・異校種との交流は学ぶことが多いので多くの生徒が参加する仕組みを整えると良い。 ②部活動と勉強で疲れている生徒がストレスを抱えないように早めに把握しケアしてほしい。 ・昼食後の歯磨きなど健康に対する意識の向上がみられる。さらに生徒たちが健康に興味を持つような指導を期待する。
学校関係者からの意見・要望・評価等	①進路に対する満足度が高い。中堅以上大学への合格者も増加してきており今後が期待できる。 ・大学入試が変更になるので、早めに変更点を捉え、対策を講じてほしい。 ・保護者に対する進路講演会を開催するなど保護者の進路に対する意識向上を図っている。保護者の進路に対する知識が向上すれば、家族内で進路に関する話し合いが活発になるので納得して進路決定を行うことができる。
学校関係者からの意見・要望・評価等	①浦和東高校の授業は素晴らしい。この授業を中学校の保護者にもぜひ公開してほしい。 ・ホームページの更新が素早く行われている。学校を宣伝するには素早い更新が一番である。 ・学校説明会に工夫がみられる。参加者がかなり増加したみたいであるが、努力の結果である。 ・地域との交流が盛んであり、間違いなく地域に愛される高校である。

